

医療法人 光善会 長崎百合野病院

百合野ニュース

- 1 令和4年度ごあいさつ／院長 橋本敦郎
- 2 就任のごあいさつ／看護部長 平山佐代子
- 3 新任挨拶
- 4 第21回光善会学会
- 5 新入職員紹介
- 6 新入職員感想文



長崎百合野病院の理念

人にやさしい、温かい病院
安全で質の高い医療、品格のある病院
地域から信頼され、選ばれる病院

院長挨拶

ごあいさつ

院長 橋本 敦郎



長崎百合野病院は、長崎医療圏の救急医療を24時間体制で受け入れる診療体制を柱として40数年間走り続けた病院です。

さらに長崎医療圏における救急医療を持ち回りで担う二次輪番病院としての役割だけでなく、長崎市北部及び西彼地区に密着した地域医療に貢献する病院として今年度も活躍します。

昨年から幾度となく押し寄せてくる新型コロナウイルス感染症対策では、昨年の院内クラスターという苦い経験を生かして院内や職員の感染対策を浸透させており、コロナ対応病床の確保や発熱外来の設置などで長崎医療圏における感染症対策の一翼を担って乗り切ってきました。現在は感染の場が学校や保育所、福祉施設などへ多様化し、院内感染にも大きく影響する家庭内感染やクラスター対策が重要となっております。

これまでの人の移動を制限したり、厳しい隔離政策を行うことで地域経済を疲弊させた感染

対策からワクチンの普及によってある程度の感染者が出ることを許容してウイルスとの共生を模索する道へ大きく舵を切った日本においても院内感染対策は引き続き徹底しなければなりません。

これからも職員には気を緩めることなく健康管理の徹底や行動制限を求めていかなければならず、精神的にも肉体的にも負担が大きい状況であることを考慮した職場環境の整備も行います。

厚生労働省の指導のもとで今年度の喫緊の課題は働き方改革であり、適正な勤務時間はもちろんのこと、職員一人ひとりが自分らしく働ける職場環境の改善に努めなければなりません。これまでの当院の理念を守りながら働きやすい職場作りに取り組む重要な年度として職員一同頑張らしましょう。(頑張ってます)

看護部長挨拶

就任のごあいさつ

看護部長 平山 佐代子



今年度より、看護部長に就任しました平山佐代子と申します。大役を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いで日々を過ごしております。

看護部では、『あたたかい看護でやすらぎと信頼を』という看護部の理念のもと、患者様への笑顔を忘れず思いやりの心を持ち、安全と安心、信頼を高める看護を提供していきたいと考えております。

新型コロナウイルスの影響が長期化し、感染予防対策として面会に対する制限が続き、患者様・ご家族の皆様にはたくさんのご不便やご不自由をおかけしております。入院中大切な人と会うことができない患者様・ご家族の思いに寄り添い、支えていける存在でありたいと考えております。

二次救急輪番病院として、質の高い看護ケアを提供できるように看護師一人ひとりが自己研鑽に努め、安全で満足のいただける看護を実践できるように体制を整えていきたいと思ってい

ます。

また、超高齢化社会を迎えます。地域医療の中核病院として入退院前後の生活を見据え、地域の医療機関・施設連携をはかり、退院支援に取り組み、患者様やご家族の方が安心してご自宅に戻られるのを円滑に支援し、地域包括ケアシステムの一旦を担うことができるよう努めてまいりたいと思っております。

そして、現場スタッフの方々の声に耳を傾け、少しでも働きやすいと思える職場環境を共に考え、より一層良いものにしていきたいと思います。

先輩方が培ってきたことを大切にしながら、患者様のため職員皆で考え、笑顔で日々看護を行える環境が一層根づき、患者様が安心・安全をより感じられるよう日々努力したいと思っております。まだまだ経験不足で至らぬ点もあると思っておりますが、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

新任挨拶

呼吸器内科

医師 瓜生 和靖



本年度より勤務させて頂くことになりました内科の瓜生和靖と申します。専門は呼吸器内科です。福岡県出身で、地元の九州大学を卒業してからちょうど10年目になります。今までは主に大学病院も含め福岡県内の急性期病院で勤務しておりました。今回家族の都合もあり、初めて長崎に移住しましたが、身近に自然も多く非常に住みやすく感じております。ここ数年は通

常の呼吸器疾患全般に加え、中等症から重症COVID-19の全身管理などもさせられ…行っていました。まだ長崎の地域医療に慣れない部分も多いですが、呼吸器疾患を含めた内科疾患全般に幅広く対応し、少しでも地域医療に貢献できればと考えています。

今後ともよろしくお願い致します。

消化器内科

医師 橋本 憲和



この度、長崎百合野病院へ消化器内科医として赴任してきました橋本憲和と申します。福岡県で消化器内科医師として、胃がん・大腸がんなどの消化管がんを中心とした多くの消化器内科疾患の診断及び内視鏡治療を行ってきました。特に早期がんの早期発見と内視鏡治療に力を入れて日々研鑽を積んで参りました。

消化管がんは早期発見・早期治療が出来れば治せるがんの一つとなりましたが、その多くは

進行がんとなるまで初期には自覚症状はほとんどなく、進行がんであっても症状が無いこともあります。これまでに一度も検査を受けたことが無い方は勿論ですが、過去に検査を受け異常が無かった方も少なくとも一年に一回の内視鏡検査をお勧め致します。また専門は消化器内科ですが、一般内科、救急医療、検診等も行います。微力ながら長崎医療圏に貢献したいと存じますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

第21回光善会学会が開催されました。

3月16日から22日までの間、14題が研修室に掲示され、今年は、昨年導入された職員への一斉メールシステムを使い、全職員に閲覧評価、投票してもらいました。

今回は、コロナ禍の中での自部署の現状や問題・課題に視点を当て、その中で安全な業務を行うための研究が多かったようです。

結果は

第一位：栄養科

現場の作業工程の見直しによる効果

第二位：手術室

手術室の COVID-19感染対策

第三位：地域連携室

みんな知ってる？「在宅復帰率」

栄養科は、働き方改革法を受けて、日勤者が毎日30分～60分の残業を行っていたことに着目し勤務時間、休憩時間、作業工程の見直しを行いました。

汁物を夕食から昼食に変更して、夕食時デザートをつけて1日あたり平均90分、1か月約45時間の時間短縮の効果を得ましたが、遅出業務の残業時間の短縮には今回繋がりませんでした。

今後の給食業務の維持については課題も多く、病院と対応検討をしていきます。

感想) 内容がわかりやすく業務改善に対する着眼点が良かった

働き方改革を実践し、成果をあげられた点がわかりやすく伝わりました

手術室での COVID-19感染症対策は、挿管や抜管時の対策が重要です。

麻酔科医・手術室スタッフで意見交換と挿管・抜管のデモンストレーション後マニュアル化を行いました。その後、統一した感染対策を実施できるようポスター掲示、紙芝居形式の勉強会を行い、期間中何度か話し合いながらマニュアルの改訂を行いました。今回は COVID-19感染症対策として研究を行いました。終息如何にかかわらず基本の対策を遵守していきます。

感想) 具体的な感染予防策が書かれており読んでいてわかりやすかった

スタッフ全体で取り組む姿勢がよく出てよかったです

地域連携室の目標は、「住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう、地域の医療・福祉関連機関と連携しながら、途切れの無い支援を行う」です。退院支援を行うにあたり、患者本人、家族の退院先の相談を受けますが、近年は高齢者単身世帯や高齢者夫婦所帯が増えています。自宅退院が困難な場合、施設への退院調整を進めることもあり、今回、自宅退院ではなくても在宅復帰となる施設があることを職員へ周知しました。

感想) 在宅復帰率のことを詳しく知れて良かった

新入職員紹介

今年度は9名の新入職員を迎えました。4月1日の辞令交付式終了後より、院内プログラムに沿って集合研修に入りました。初日から3日間は全職種が一堂に会して行い、その後各部署に分かれて行います。異なる職種の新人職員が一堂に会することは最初の3日間だけですが、とても強い絆で結ばれたことでしょう。この絆を大切に頑張っていくことを願い、全職員で支えていこうと思います。以前より当院新人職員は一年間、胸に黄色のフレッシュバッジをつけています。医療人として、社会人として、現場で学んでいく一年間です。病院職員一丸となって地域から信頼され選ばれる病院を築いていこうと思います。よろしくお願ひ申し上げます。



新入職員感想文

看護部 (6名)



久保 奈津美

橋本院長の話の中で「全人的医療を目指す、病気ではなくその人を診よ」の言葉がとても印象に残りました。今現在の疾患のみを診るのではなく、その人の全体像を診て多職種と連携し退院へと繋げていることを改めて知ることができました。

小原 由梨乃

安全な医療のために、日ごろから業務の一つ一つの手順を守り正確に実施し、わからないことは一人で対処せず相談し解決するよう心掛けます。また、医療者として常に周囲へ気配りができるように体調管理を徹底し、良い状態で仕事に取り組めるよう努めていきたいです。





水谷 穂夏

病院の理念や看護部の理念にあるように、人にやさしい温かい看護を提供できるようこの理念を胸に留め日々精進していきます。また一人の患者に多職種が連携してかわり、患者に寄り添った看護を提供できるようにしたいと思います。

山田 千尋

百合野病院に勤めるにあたり、患者様とかかわる時間を多く作り細かい変化にもすぐに気づける看護師になりたいと思います。自身の知識、技術、態度を身に付けて多職種との連携やチーム医療を充実していけるよう日々自己研鑽に努めます。



藤山 舞花

患者様、家族の方々に信頼され寄り添える看護師になれるよう精一杯学んでまいります。「百合野病院を受診してよかった」と思ってくださいよう、相手を尊重・尊敬する気持ち、常に初心を忘れずに行動していきたいと思っています。

久保田 真理

今回、看護師だけでなくリハビリ科や事務部に所属する新人同期と一緒に研修を受けることで、交流を深めることができました。今後は、同期だけでなく同部署、他部署の役割を理解しスタッフと交流を深め一つのチームの一員として地域に貢献していきたいです。



リハビリテーション科 (2名)



吉梅 智恵

百合野病院の組織や歴史、各病棟や各部署の紹介など、臨床で自分が働くイメージがわくような内容で、病院の一員になった実感がわきました。また、情報共有のためだけでなく、病院内に同期がいると思うと心強いことも多々あるので、より良い関係を続けていけたらと思います。

中嶋 里佳

今回の集合研修では、それぞれの職種ができることを行い、患者様により良い医療サービスを提供するために協力し行動することの大切さを学びました。自分もその一員として働けることに喜びを感じるとともに、相応の努力や行動をしていかなければならないと改めて感じました。



医師事務 (1名)



朝長 茉由

医師事務として正しい知識を身に着けると同時に、同期や自分の部署だけではなく、他部署の職員とも積極的にコミュニケーションをとりながら、百合野病院の一員として、より良い医療を提供できるよう自分にできることを精一杯励んでいきたいと思っています。

外来案内

救急告示病院

診療時間

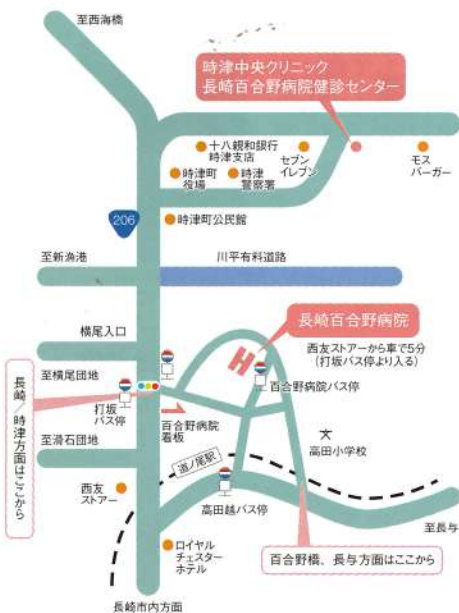
平日：8時30分～12時00分／13時00分～17時00分
土曜日：8時30分～12時00分

休診日

日曜日・祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

ただし急患の方は、24時間受け付けます

		診察室	月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	④	瀬良	鈴木	森	瀬良	鈴木	常勤医 で対応
		③	徳永	安達	梶山 長大整形外科	徳永	安達	
		①	横田 長大整形外科	森		森	津田 長大整形外科	
	内科	⑤ (新患)	橋本敦郎	橋本敦郎	濱島 長大呼吸器	豆谷	大坪	常勤医 で対応
		⑥ (再診)	橋本憲和 消化器	大坪 呼吸器	大坪 呼吸器	大曲 消化器	橋本敦郎 呼吸器	
		⑦ (再診)	藤澤 循環器	豆谷 消化器	藤澤 循環器	瓜生 循環器	豆谷 消化器	
内視鏡検査		豆谷 橋本憲和	緊急時のみ	豆谷	緊急時のみ	緊急時のみ		
外科	②	七条	七条	七条	七条	七条	交替制	
脳外科	診療案内 窓口受付			日宇 長大脳外科	馬場 長大脳外科			
午後	外科	②	七条	足立 長大外科	七条	金高 長大外科	第1,3,5週:七条 第2,4週:森田	
	専門外来	⑤	濱島 長大呼吸器	橋本憲和 消化器	本川 長大循環器	藤澤(橋本敦郎) 循環器(総合)	瀬戸 長大循環器	
		⑥	睡眠時無呼吸 橋本敦郎			心臓血管外科 七条	瓜生 呼吸器	
放射線科			石丸	大学医師 (午後)	大学医師 (午前)	石丸	大学医師 (午前)	
リハビリ科(午前・午後)			立石	谷口	谷口	立石/谷口 (午前)(午後)	立石	常勤医で対応
健診センター			谷口 (午前)	藤澤 (午前)	橋本敦郎 (午後)	橋本敦郎 (午前)		



医療法人 光善会 **長崎百合野病院**

〒851-2103 長崎県西彼杵郡時津町元村郷 1155-2

TEL.095-857-3366 FAX.095-856-6663

HP <http://www.yurinohp.jp> E-mail yurinohp@cello.ocn.ne.jp

